

衆議院予算委員会公聴会ニュース

【第211回国会】令和5年2月16日（木）、第1回の公聴会が開かれました。

1 令和5年度一般会計予算

令和5年度特別会計予算

令和5年度政府関係機関予算

- ・公述人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（公述人）

（午前）拓殖大学教授

日本労働組合総連合会事務局長

福岡県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長

沖縄国際大学教授

（午後）株式会社資源・食糧問題研究所代表

慶應義塾大学大学院准教授

京都大学大学院人間・環境学研究科准教授

東京大学名誉教授

川上高司君

清水秀行君

井上善博君

前泊博盛君

柴田明夫君

小幡績君

柴田悠君

北岡伸一君

（質疑者）（午前）辻清人君（自民）、赤羽一嘉君（公明）、渡辺創君（立憲）、掘井健智君（維新）、斎藤アレックス君（国民）、宮本徹君（共産）、緒方林太郎君（有志）、大石あきこ君（れ新）

（午後）武部新君（自民）、中野洋昌君（公明）、吉田はるみ君（立憲）、青柳仁士君（維新）、鈴木敦君（国民）、田村貴昭君（共産）、仁木博文君（有志）、大石あきこ君（れ新）

（質疑者及び主な質疑内容）

（午前）

辻清人君（自民）

- （1） 令和5年度予算において評価すべき点及び課題についての川上公述人、清水公述人、井上公述人及び前泊公述人の見解
- （2） 米国において安全保障の戦略的な転換があったとしても、我が国の安全保障戦略を堅持すべきとする意見に対する川上公述人のアドバイス及び評価
- （3） 我が国の恒常的な人手不足についての井上公述人の見解

赤羽一嘉君（公明）

- （1） 希望する者は正規雇用されることを原則とする社会を目指すべきとの意見についての清水公述人の見解
- （2） 育児休暇制度の柔軟な運用についての清水公述人の見解
- （3） 旅行に対する需要喚起策の継続の必要性についての井上公述人の見解
- （4） 宿泊業者に対する資金繰り支援の状況についての井上公述人の見解

渡辺創君（立憲）

- （1） 我が国の安全保障政策
 - ア 我が国の防衛三文書が米国において政権交代があった際に引き続き効果を持つのかといったリスクや課題についての川上公述人の見解
 - イ 前泊公述人が指摘する国民保護計画の欺瞞性に対する沖縄県民の懸念についての同公述人からの

補足説明

- (2) 育児休業中のリスクリングに関する岸田内閣総理大臣の発言に対する清水公述人の受止め
- (3) 多様性を認め合う寛容な社会を作る取組に関する議論について、労働者を代表する立場としての清水公述人の見解
- (4) 宿文化とインバウンドの連携に関する井上公述人の見解

堀井健智君（維新）

- (1) 我が国の外交・安全保障
 - ア 防衛力整備計画において島嶼防衛用高速滑走弾の配備や南西地域における補給拠点の整備が明記されたことは沖縄が戦場として想定されているとの認識に対する前泊公述人の見解
 - イ 台湾有事のシナリオにおいて沖縄の米軍基地が攻撃されることを想定しているのかに対する川上公述人の見解
 - ウ 経済の安定を基礎として日中間の信頼関係を構築して紛争の予防に努めるという外交が重要との考えに対する川上公述人及び前泊公述人の見解
- (2) 賃上げ・雇用
 - ア 我が国が抱える賃金が上がらない構造的な問題に対する清水公述人の所見
 - イ 労働生産性、賃金水準の向上に資する雇用の流動化に関する清水公述人の意見

斎藤アレックス君（国民）

- (1) 今年の春闘の重要性及び春闘に向けた清水公述人の決意
- (2) パートタイム労働者の賃上げ実現に向けた清水公述人の見解
- (3) 子育て支援の所得制限撤廃に関する連合の立場に関する清水公述人の見解
- (4) 台湾有事を回避するための鍵となる取組に関する川上公述人及び前泊公述人の見解

宮本徹君（共産）

- (1) 軍事力の強化により武力攻撃の可能性を低下させることができるとする政府の主張に対する前泊公述人の見解
- (2) 岸田政権が対中国を筆頭に進めている軍拡路線が日中の経済関係に与える影響に関する前泊公述人の見解
- (3) 米国のインド太平洋軍司令官及び日本の政治家による台湾有事及び日本有事に関する発言に対する前泊公述人の見解
- (4) 日本は米国に追随するのではなく自主的な平和外交をすべきとの考えに対する川上公述人及び前泊公述人の見解
- (5) 来年度予算で着手しようとしている陸上自衛隊那覇駐屯地における司令部の地下化に対する前泊公述人の見解
- (6) 物価高騰局面においては最低賃金を年間で複数回改定する必要性について清水公述人の見解

緒方林太郎君（有志）

- (1) インバウンドの今後の方向性についての井上公述人の見解
- (2) 2012年に取りまとめた連合のエネルギー政策をその後の事情変更を踏まえて改定すべきではないかとの指摘に対する清水公述人の見解
- (3) 公立学校の教員に給料月額4%程度を支給する代わりに時間外勤務手当等を支給しないことを規

定する給特法（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法）の是非についての清水公述人の見解

- (4) 中国の目から見た国際的なパワーバランス及び日米の抑止力に対する川上公述人の見解
- (5) FMS（対外有償軍事援助）の問題点についての前泊公述人の見解
- (6) 沖縄振興のための予算が中央に還流している現状と沖縄の自治体が東京のコンサルタント企業に依存する理由についての前泊公述人の見解

大石あきこ君（れ新）

- (1) バイデン政権が米中対立を民主主義対専制主義と位置付けていることをフィクションと捉えるかについての川上公述人の認識
- (2) 防衛費増額や敵基地攻撃能力の保有は我が国の安全保障の前提をかえって脅かすのではないかとの指摘に対する前泊公述人の見解
- (3) 米国のIT及び軍需産業のハイテク化が進む一方インフラが弱体化しているのではないかとの指摘に対する前泊公述人の見解
- (4) 教員定数改善計画を復活し教員の基礎定数を1.5倍にする必要性についての清水公述人の見解

(午後)

武部新君（自民）

食料安全保障

ア 食料安全保障の在り方、特に肥料の確保及び今後の動向についての柴田明夫公述人の所見

イ 農産物の適正な価格形成、農業の担い手の確保及び減少する農地の確保と適正利用についての柴田明夫公述人の見解

中野洋昌君（公明）

こども・子育て支援

ア 保育・幼児教育、特に0～2歳児の支援についての現在までの取組の評価及びその重要性並びに今後重点的に取り組むべき点についての柴田悠公述人の見解

イ 児童手当等の経済的な支援の在り方とその効果についての柴田悠公述人の見解

吉田はるみ君（立憲）

- (1) 金融政策
 - ア 新しい総裁の下で日本銀行が限られた選択肢に対し一枚岩になって対応できるかとの指摘に対する小幡公述人の見解
 - イ 日本銀行のETF保有残高を減らすための施策に対する小幡公述人の見解
- (2) リスキングについて、国の補助金ではなく大企業の利益剰余金（内部留保）を人的資本への投資に充てるべきとの考えに対する小幡公述人の見解
- (3) 東京都保育士等キャリアアップ補助金のように保育士の賃金の改善を支給要件とする補助金制度を国で行うことに対する柴田悠公述人の見解
- (4) 国会での議論では、安全保障に関しては機微な情報を含むため政府の説明が不十分である状況に対する北岡公述人の見解
- (5) 都市部の個々人と地方の農家が契約を結び農産物を取引する取組事例の有無に関する柴田明夫公述

人の見解

青柳仁士君（維新）

- (1) 増額する防衛関係費の使途及びその適否に対する北岡公述人の見解
- (2) 高等学校の無償化による出生率への影響に関する柴田悠公述人の見解
- (3) 日本銀行が異次元の金融緩和を続けた背景に国債発行、つまり政府の財政支出の増加があるのではないかとの指摘に対する小幡公述人の見解
- (4) 反撃能力の保有に関連し、先制攻撃をしないことをどのように明確化すべきかについての北岡公述人の見解

鈴木敦君（国民）

- (1) 非正規雇用を名実ともになくすために同一労働同一賃金の導入よりも重要な試みに関する小幡公述人の見解
- (2) 防衛費削減の取組として自衛隊の組織をスリム化すべきとの考えに対する北岡公述人の見解
- (3) 無人偵察が疑われる中国の気球について機敏に反応しない防衛省の意識改革の必要性に関する北岡公述人の見解
- (4) 食糧価格の高騰の要因にはウクライナ紛争のみならずバイオエタノール燃料の導入による影響もあったのではないかとの考えに関する柴田明夫公述人の見解
- (5) 電気自動車の普及を進める中で政府が長期的な指針を示してバイオディーゼル燃料を一定程度活用する必要性に関する柴田明夫公述人の見解
- (6) 実効的に保育士の賃金を上げるため処遇改善手当の対象は事務員等を含めず保育士のみとすべきとの考えに対する柴田悠公述人の見解

田村貴昭君（共産）

- (1) 農林水産関係
 - ア 我が国の米政策・水田の在り方に対する柴田明夫公述人の見解
 - イ 防衛力の強化が求められる中で食料安定供給関係費とエネルギー対策費が削減されている令和5年度予算に対する柴田明夫公述人の見解
 - ウ 肥料を輸入に依存しているため肥料価格の高騰が生産者に大きな影響を与える中で化学肥料の使用量を低減させるみどりの食料システム戦略に関する柴田明夫公述人の見解
- (2) こども・子育て関係
 - ア 異次元の少子化対策における学費の免除・軽減の意義に関する柴田悠公述人の見解
 - イ 防衛費が膨張する一方で少子化対策の財源確保に苦慮する現状を踏まえて柴田悠公述人が考える予算の在り方

仁木博文君（有志）

- (1) 農地を持たない人による新規就農時の農地取得の円滑化についての柴田明夫公述人の見解
- (2) 地方におけるダブルワークとして農業を活用することに関する柴田明夫公述人の見解
- (3) 少子化対策の財源及び少子化対策における家事支援の効果についての柴田悠公述人の見解
- (4) 諜報活動分野における人材育成及び人材募集の方法についての北岡公述人の見解
- (5) 外務省と防衛省の連携のための組織体制の整備についての北岡公述人の見解

大石あきこ君（れ新）

- （１） 農業分野に必要な予算措置の規模及び水田や里山を守る２兆円規模の提案に対する柴田明夫公述人の評価
- （２） 国と農業の現場との認識のギャップを解消する方法に関する柴田明夫公述人の所見
- （３） 国の危機を救うための積極的な財政支出に対する小幡公述人の評価
- （４） 真の異次元の少子化対策、小中の公教育の質の向上、農業資源の活用のためには多額の財政支出が必要であることに対する小幡公述人の評価